

# 組み木づくりの茶室

## コンセプト

### 子供に自然素材の魅力を伝える空間

着色していない自然色の天然木を使用した、組み木を思わせる床は、その優しい色味や香りで素材の魅力を子供に教えてくれる。身体にも優しい素材で作られるため、子供を教育する空間に最適である。また、背丈に合う低い位置に窓を設け、子供が興味をそそる空間にしている。高めの天井と壁一面の障子でたっぷり採光し子供に不安を感じさせない「快適で興味をそそる」空間を意識した。

### 身近な樹木が木材として生き続ける

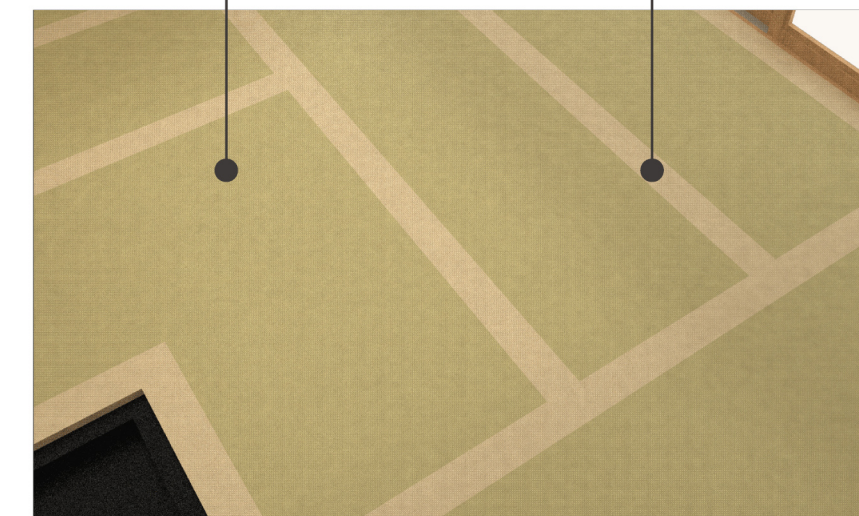
街路樹など街中の樹が、老齢・大木化などで伐採されることが最近増えている。この茶室の床板は、神戸大学キャンパスでやむを得ず伐採された樹齢50年の榎材を使う。太さ50cmの丸太が捨てられようとしていた。榎は材質が良いとは言えず、注目される木ではないが、試しに製材すると乾燥過程で緑がかった美しい色合いに変化した。落ち着いた自然の色は厳かな茶室の雰囲気と調和する。街中の公園や街路樹の様々な樹木は、木材資源とは意識されていないが、材としての可能性を秘めていると思う。長年人と共に育ってきた樹木を伐採後も生活の中に生かす、という気持ちを子供に伝えたい。



## ■ 自然素材の魅力

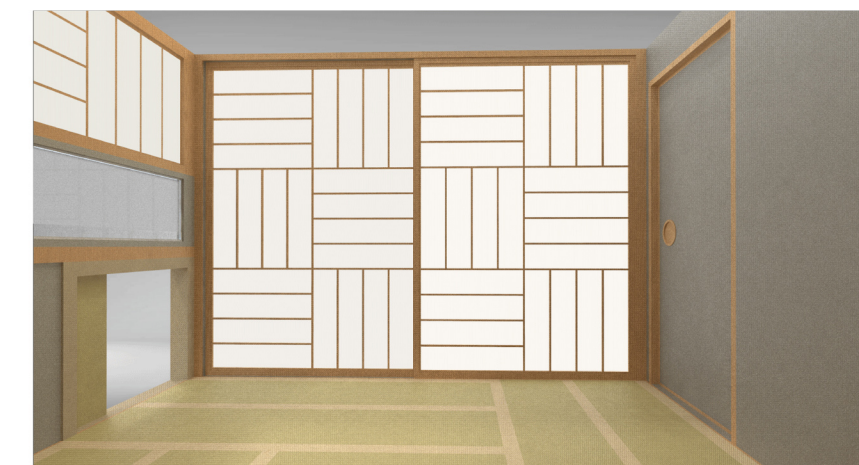
榎のやさしい木材色と白木材の合わせで  
畳を思わせる組み木仕上げ

榎（灰緑色） 楓などの白木材

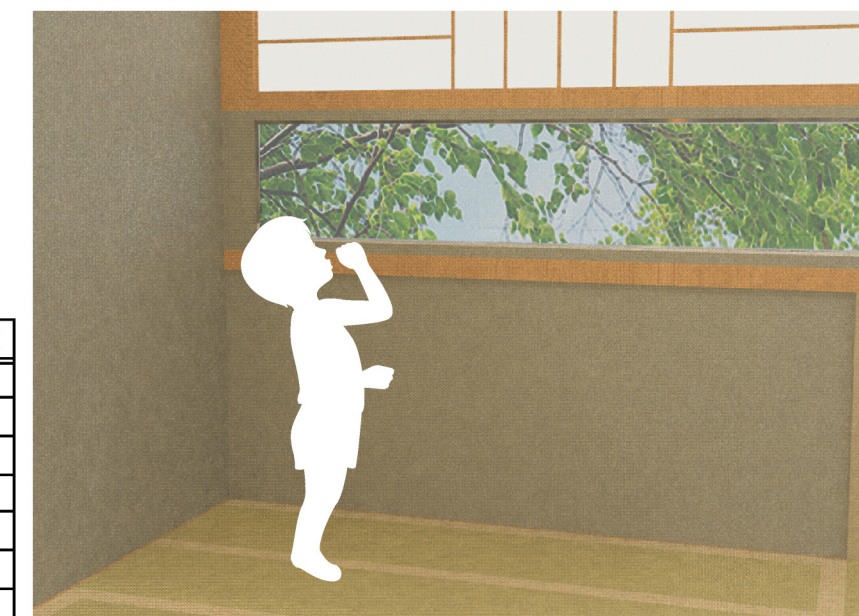


## ■ 子供の快適空間

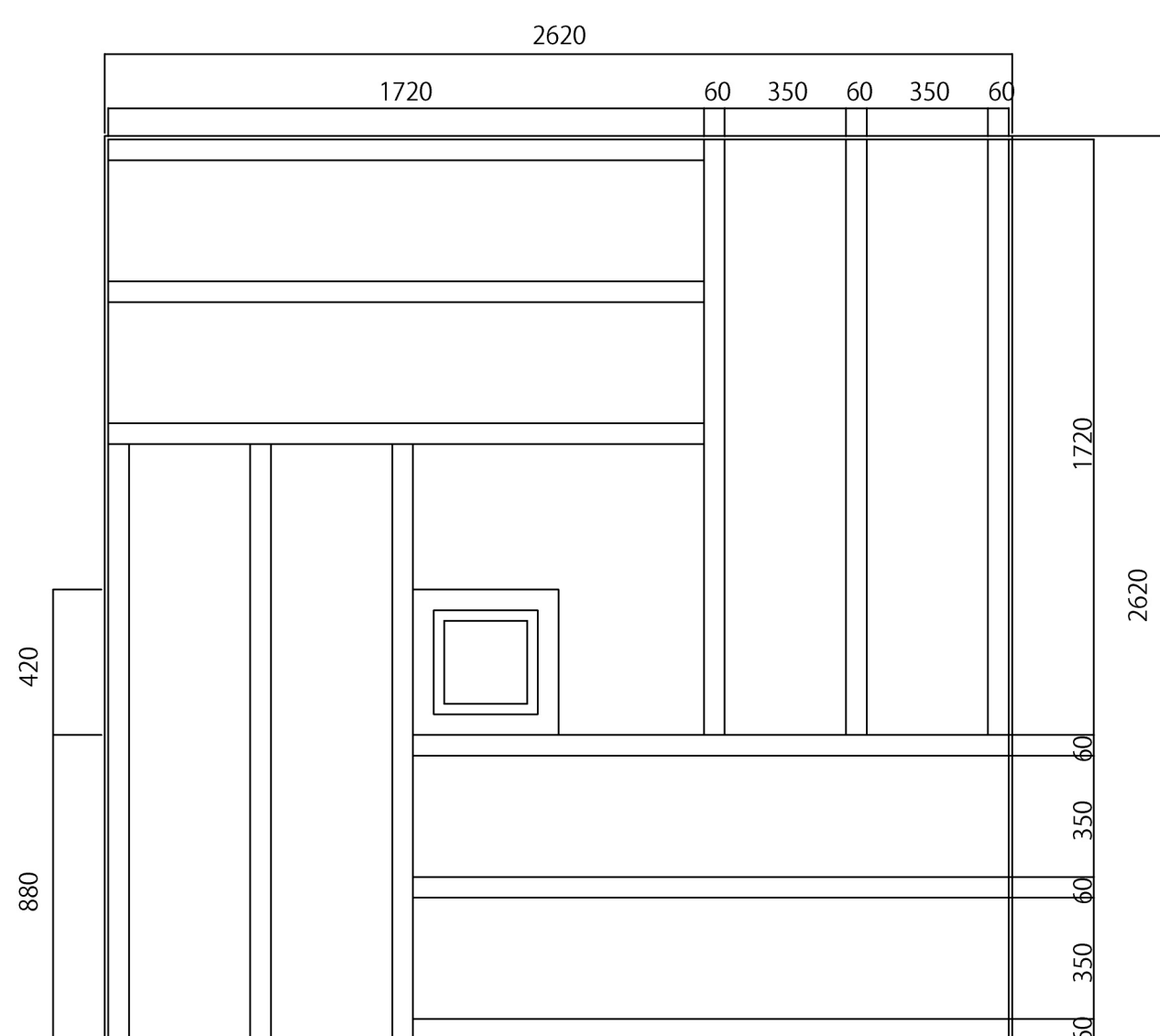
壁一面の障子でたっぷり採光



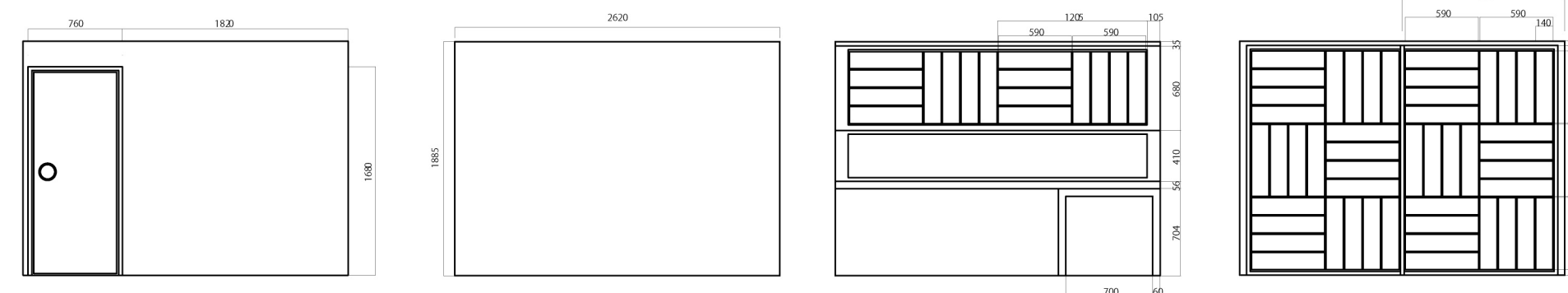
背丈に合う低い位置に窓を設けた



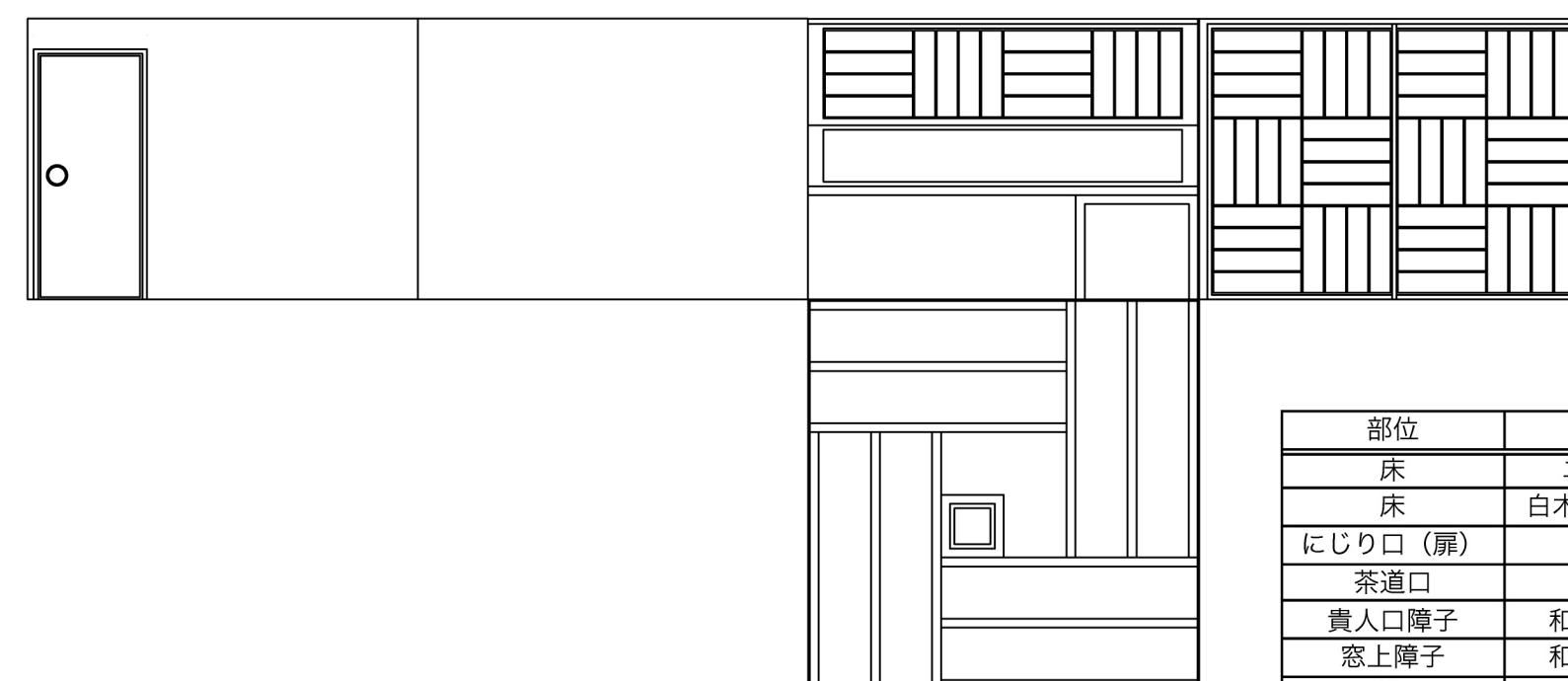
1/20 平面図



1/50 立面図



1/50 展開図



| 部位      | 材料       | 大きさ (mm)  | 枚数・個数 |
|---------|----------|-----------|-------|
| 床       | エノキ材     | 350×1720  | 8     |
| 床       | 白木材(カエデ) | 60×1720   | 12    |
| にじり口(扉) | スギ板      | 700×640   | 1     |
| 茶道口     | ふすま      | 760×1680  | 1     |
| 貴人口障子   | 和紙・スギ    | 1310×1850 | 2     |
| 窓上障子    | 和紙・スギ    | 590×590   | 4     |
| 壁       | 土壁       |           |       |